

こんにちは、SSH推進委員会です。SSHNEWSの第14号となる今回は**年末年始に行われた、ダイキン工業淀川製作所での研修の様子と須磨水族園での研修の様子と極限科学センターでの研修の様子**を紹介します！どの研修も生徒たちが興味関心を持てたととてもよい研修となりました。

12月27日(月) ダイキン工業淀川製作所での研修の様子

前半はダイキン工業の歴史や取組み、開発してきたものを見学しながら、説明していただきました。商品の部品の一部を実際に手で触らせてもらうことができ、普段体験することができない体験ができました。後半はエアコンや空気清浄機の仕組みを実物を分解しながら教えていただきました。説明の中には高校の理科の授業で学習する内容もたくさん含まれており、積極的に話を聞いている様子がとても印象的でした。最後の質疑応答では生徒・教員からたくさんの質問がありその1つ1つに丁寧に回答していただきました。



1月6日(木) 須磨水族園での研修の様子

神戸市立須磨海浜水族園(すまかいひんすいぞくえん)への訪問研修を実施し、高校生12名が参加しました。まず初めに施設見学を行い、富田林では触れ合えないさまざまな海の生き物を見学しました。その後、須磨水族園職員さんの講義を受けました。講義では、動物園・水族園の役割について、種の保存や生物多様性を守るために取り組んでいることなどの説明を受けました。また探究活動の助言や指導などもいただき、とても有意義なものとなりました。



1月7日(金) 極限科学センターでの研修の様子

大阪大学大学院基礎工学研究科附属極限科学センターへの訪問研修を実施し、中学生9名、高校生8名の計17名が参加しました。まず初めに清水克哉教授、阿部真之教授の講義を受け、その後研究室見学を行いました。清水教授の講義では、高圧下での水の状態変化の演示実験や高圧下での超伝導について教えていただきました。阿部教授の講義では、原子サイズを観測できる顕微鏡などについて教えていただきました。

